

# 緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く

緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室編

▶A5判・216頁／定価：本体 2,300円（税別） ISBN978-4-7842-1806-6

2015年7月刊行

江戸末期に緒方洪庵らが開き、その後の天然痘予防の普及活動の拠点となった大阪の「除痘館」。  
その活動記録「除痘館記録」は、洪庵が適塾を主宰し多くの人材を育成する一方、生涯かけて取り組んだものであり、今も緒方家に伝えられている。それは洪庵や大阪の除痘館活動の実態を明らかにするだけでなく、西洋医学の移入を通して人々を天然痘の災厄から救済し、解放する除痘館活動そのものの役割や、その近代化に寄与する様相を見事に描きだすものとなっている。  
本書は第一部で「除痘館記録」の原本図版・翻刻・現代語訳・註と解説、第二部に論考を配し、幕末という当時の歴史的背景や具体相、あるいは洪庵を取り巻く状況や環境などを丁寧に解説することで、より多くの人々が緒方洪庵と除痘館事業の活動を再認識できるよう構成した。病いと闘いに迫る書。

## ◎ 内容目次 ◎

### 第一部 「除痘館記録」を読む


- I 「除痘館記録」の影印
- II 「除痘館記録」の翻刻・読解
- III 現代語訳「除痘館記録」
- IV 「除痘館記録」の註と解説

### 第二部 天然痘対策と除痘館活動

- 第一章 天然痘対策と緒方洪庵
  - I 天然痘との闘い
    - ―種痘法の開発と根絶宣言への道―
  - II 緒方洪庵と「除痘館記録」
    - ―大阪と江戸・東京―
    - ―緒方洪庵の二つの墓所―（緒方高志）
- 第二章 大阪の除痘館の成立と展開
  - I モーニケ苗の伝来と展開
  - II 大阪の除痘館の成立
  - III 古手町除痘館記念碑の建立（川上 潤）
  - IV 大阪の除痘館の活動と官許
  - コラム 除痘館での牛痘種痘接種風景（川上 潤）
  - コラム 尼崎町除痘館の創成と展開
  - コラム 尼崎町除痘館記念銘板について（川上 潤）
- 第三章 牛痘種痘法の意義と役割
  - I エドワード・ジェンナーによる牛痘種痘法の開発
  - II 天然痘対策の今日的意義
- 天然痘（痘瘡）と大阪の除痘館 関係年表

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)		
冊数	冊	緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く		本体2,300円(税別)	ISBN978-4-7842-1806-6	
お名前			tel			
			e-mail			
ご住所	〒					
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）					
			本書HPのQRコード		書店番線印	

**緒方洪庵の蘭学**

石田純郎編著

『解体新書』以後の洪庵に代表される日本の蘭医学……蘭学者および彼らが学んだ原典とその著者たちのプロソボグラフィ（集団履歴調査法）的研究を通して日本医学の質を明かす。【内容】緒方洪庵と適塾生／緒方洪庵の学統のプロソボグラフィの検討／『扶氏経験遺訓』とその原典／『病学通論』とその典拠書 ほか

▶A5判・366頁／本体4,800円(税別)

ISBN4-7842-0751-1

**緒方惟準伝 緒方家の人々とその周辺**

中山沃著

洪庵の嫡子で、ボンベ、ボードインらに学んだ惟準は、宮廷医療への西洋医学導入、大阪大学医学部・軍医学校の前身創設、大阪での医療基盤確立などに貢献。その自叙伝「緒方惟準先生一話」を軸として、著者が博搜した資料とともにその生涯と交遊を詳述。幅広く網羅された本書は、幕末・明治初期の医学界をもものがたる基本図書。

▶A5判・1018頁／本体15,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1563-8

**文学に見る痘瘡**

川村純一著

古来から、人々は痘瘡（天然痘）と戦い、多くの犠牲を払ってきた。また一方では痘瘡神が祀られ、多くの民俗行事が発達するなど、痘瘡と馴れ親しんできたともいえる。平安朝から昭和まで、主に江戸時代を中心に46の文学作品を通じて、当時の民衆の痘瘡に対する疾病概念および医療事情を浮き彫りにする。

▶A5判・300頁／本体5,000円(税別)

ISBN4-7842-1323-6

**※天然痘根絶史 近代医学勃興期の人びと**

深瀬泰巨著

ジェンナーによって発明された牛痘接種法は、日本においてはお玉ヶ池種痘所において実践され、この技術を強力な尖兵として、お玉ヶ池種痘所は蘭学という学問を普及させる上での確固たる拠点となった。天然痘の根絶を旨とする人びとに焦点をあてながら、この近代医学勃興期とも呼べる時代を活写する。

▶A5判・450頁／本体8,500円(税別)

ISBN4-7842-1116-0

**医療の社会史 生・老・病・死**

京都橋大学女性歴史文化研究所編

京都橋大学女性歴史文化研究所の研究プロジェクトの成果のひとつで、医療の社会的展開が通史的にうかがえるようにすることを企図した論文9本・コラム4本を収録。【内容】平安中後期における貴族と医師／鎌倉幕府の医師／『本草綱目』に見る中国医療の到達点／室町・戦国期の山科家の医療と「家薬」の形成 ほか

▶A5判・304頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1677-2

**※大坂名医伝**

中野操著

医学博士として大阪に半世紀以上にわたり在住し、大阪をこよなく愛した著者が、橋本宗吉・中天游・緒方洪庵ら先人たちの貴重な業績と足跡を通して、わが国の近代化の中で大坂が果たした役割をさまざまな角度からわかりやすく語った好著。『大坂蘭学史話』の姉妹篇。巻末に大坂風土記年表を付す。

▶A5判・250頁／本体1,500円(税別)

ISBN4-7842-0069-X

**明治の避病院 駒込病院医局日誌抄**

磯貝元編

当時わが国の代表的な伝染病院であった駒込病院の勤務医が当直時に書き誌した医局日誌全十一帖（明治32年～42年）から編者（元駒込病院副院長）による脚注を付して翻刻抄録。ペスト・腸チフス・赤痢患者の悲惨な状態。医師や看護婦の診察への取り組み、医局内の行事や人事など伝染病をとりまく生々しい実態が活写されている。

▶A5判・530頁／本体13,000円(税別)

ISBN4-7842-0998-0

**京都療病院お雇い医師シヨイベ 滞日書簡から**

森本武利編著／酒井謙一訳

シヨイベが滞日中に母へ送った書簡のコピーを、シヨイベの遺族から得た編著者が、その翻訳を通して、シヨイベの生涯をはじめ、ほかのお雇い外国人達との交流や居留地での生活から明治初期の京都の風俗にいたるまでを、生き生きとよみがえらせる。巻頭に口絵写真、巻末にシヨイベの業績リスト・年譜を付す。

▶A5判・346頁／本体7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1581-2

**蘭学の背景**

石田純郎編著

1609年平戸のオランダ商館開設以来、オランダを通して流入、江戸中期以降興隆した蘭学、殊に蘭医学のルーツを、遠影ともいうべきライデン大学、大きな影響を与えたシーボルトの医学的背景、近代日本に直接影を落としたウトレヒト陸軍軍医学校など、直接現地に足をのばして探り、蘭学史に新たな光をあてる。

▶A5判・360頁／本体3,800円(税別)

ISBN4-7842-0512-8

**緒方郁蔵伝 幕末蘭学者の生涯**

古西義麿著

緒方洪庵の義兄弟となり、医師として開業する傍ら、独学軒塾を開き、除痘館で種痘の普及に尽力した緒方郁蔵。その生い立ちから58歳で没するまでの生涯を、遺された著書や資料を丹念に読み解くことでたどり、真摯に生きた幕末の蘭学者・緒方郁蔵の実像を明らかにする。

▶A5判・186頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1774-8

**※病いの克服 日本痘瘡史**

川村純一著

古代より人類を苦しめてきた痘瘡（天然痘）が根絶されるまでの歴史を、膨大な史料から描き出す。【内容】痘瘡の呼称の変遷／痘瘡の起源と伝来／痘瘡の流行／痘瘡の犠牲者／痘瘡の医学／種痘／痘瘡にかかわる民俗／文芸作品に見る痘瘡／種痘の根絶／人類は再び痘瘡に襲われることはないか

▶A5判・400頁／本体4,700円(税別)

ISBN4-7842-1002-4

**日本梅毒史の研究 医療・社会・国家**

福田真人・鈴木則子編

ペニシリンの出現で「過去の病」のイメージすらある梅毒だが一。いままなぜ梅毒か。日本人は自らの身体や性、性感染症とどう対峙してきたのか。「家」・共同体・国家、さらに国際社会がどのような形でそれに介し、その態度を変容させてきたのか。これらのテーマをめぐって専門領域を異にする研究者が行なった共同研究の成果9篇。

▶A5判・392頁／本体7,000円(税別)

ISBN4-7842-1247-7

**歴史における周縁と共生 女性・穢れ・衛生**

鈴木則子編

日本の歴史のなかで女性の周縁化（地位の劣化）が進行していく過程を、その身体に対する認識の歴史的变化に着目しつつ、宗教／儀礼／穢れ／医学／衛生という、主として五つの側面から検討をくわえ、明らかにする。

▶A5判・370頁／本体6,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1714-4

**浪速の町医師 上田秋成**

濱光治著

江戸後期、和漢の文献に関する広い知識の上に、深い知性と鋭敏な感性をもって特異な文学を打ち立てた秋成、その意外と知られていない医師としての側面に光をあてる。医者としての働きぶりや、その師都賀庭鐘の存在、自らの著書『胆大小心録』にもみられる「医は意」をモットーとした彼の医の心などを探る異色作。

▶A5判・178頁／本体1,845円(税別)

ISBN4-7842-0574-8

**近代京都の施薬院**

八木聖弥著

奈良時代に貧窮病者を救済するために設置された施薬院。明治維新から大正にかけて、施薬・施療のために人生をかけた安藤精軒が、貧困者への医療普及を目指したのが「施薬院」の復興であった。「施薬院」を中心として京都医界の歴史を描き出し、近代化していく日本の側面を考察する。

▶A5判・304頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1705-2

**※ベルツの生涯 近代医学導入の父**

安井広著

日本の近代医学発展の基礎を築いた一人であるベルツの生涯をその業績と足跡からたどる著者ライフワークの遺著。【内容】明治初期の東京医学校／来日以前の経歴と日本における生活／内科学著書から／栄養論／温泉医学／中央衛生会／ドイツ東洋文化研究協会／人類学／在日中の日記／ドイツにおける晩年の日記

▶A5判・450頁／本体12,000円(税別)

ISBN4-7842-0876-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。